

夕刊

室蘭民報

MUROMI

5月23日 土曜日

2015年(平成27年)

途上国の子どもに贈る

室蘭・海星学院高の生徒会



途上国支援で子どもたちに贈る楽器や書道用具
セットなどの物品と生徒会メンバー

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、236人)の生徒会(松木美優会長)が、途上国支援で子どもたちに贈る楽器や書道用具セットなどの物品を集めた。松木会長ら役員7人は「子どもたちにたくさん活用してほしい」と話している。

(成田真梨子)

同校はJICA(国際協力機構)の2015年度(平成27年度)春募集「世界の笑顔のために」プログラムに参加。生徒や地域住民から野球ボールやバドミントンラケット、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、浴衣などの提供を受けた。約70点をパプアニューギニアやトンガ、ヨルダン、ルワンダなど10カ国に贈る。

同プログラムへの参加は4年目。現地の子どもたちから浴衣を着た写真や日本語で書いた感謝の手紙が届き、「うれしい」と活動の励みになっている。ボランティア担当の市川栄作教諭は「地域の方にも活動が浸透し、ご協力いただいている。皆さんの優しい心に触れながら生徒たちも取り組んでいる」と話していた。

楽器類やペットボトルキャップ、書き損じはがきなども引き続き集めている。問い合わせは同校、電話0143・46局888番。